



スーパーコンピューティングコンテストに参加して

情報工学科3年 福本 大介 御堂 凱斗 森田 悟大

8月22日(月)から26日(金)にかけて、東京工業大学学術国際情報センターと大阪大学サイバーメディアセンターにより開催された、第22回スーパーコンピューティングコンテストの本選にチーム「kingyo」として出場し、3位に入賞しました。

スーパーコンピューティングコンテストは、その名前の通りスーパーコンピュータ用のプログラムを作成する技術を競うコンテストです。今大会では、予選を通過した10組のチームが、東京工業大学所有のスーパーコンピュータである「TSUBAME2.5」用のプログラムを作成し、与えられた課題に挑みました。

チームメイト全員が、スーパーコンピュータを触るのは初

めてでしたが、役割を決めて、相互に助言しあいながら、チームワークを活かして挑みました。

初めて出場する大会で、3位入賞できたのはとてもうれしいことでした。次年度以降も、後輩に引き継いでいければと思います。



コンテストに取り組む学生



第66回関西吹奏楽コンクールに出場して

電子制御工学科4年 今井 溪太

吹奏楽部は8月5日に行われた奈良県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、8月21日に関西吹奏楽コンクールに出場しました。2年連続の出場ということで、昨年の銅賞という結果のリベンジを果たすために、部員一丸となって練習に取り組みました。

今年は音楽のダイナミクスをつけホールで響く音をつくるため、ロングトーンを多く行いました。また、大視聴覚室が使えなかったため大きな部屋での練習ができませんでしたが、合同教室でもホールで演奏するイメージを持って合奏をしました。しかし結果は今回も銅賞で、リベンジはなりませんでした。あらためて関西大会の厳しさを知るとともに、もっと上を目指したいと思いました。来年は、関西出場はもちろん、銀賞以上を取れるよう、より一層練習に励みたいと思います。



カウンセラーだより

「ネガティブ思考、ご用心!」

本校臨床心理士 福田 道代

暑かった夏が過ぎ、秋、冬と季節が進むにつれ、心身の調子が悪くなる方は結構います。春と夏に頑張った疲れが出てきているともいえますし、日照時間が短くなるにつれ、様々な焦りや寂しさを感じやすくなるともいえます。心の調子がすぐれないとき、「ネガティブ思考」がぐるぐるめぐる場合もあり得ます。自分を否定することを考え出したらそれが止まらなくなり、どんどん辛い気持ちになってしまうこと、でもなかなかそれが止められないという状態、特に頭の回転が速い人に多い気が

します。

そんな「ネガティブ思考」の堂々巡りを止める方法を少し伝授します。まず「思考を停止させること」…嫌な考えをいったん心の中で「ストップ」と合図し、何も考えないようにします。そして体を移動させるか違うことを思い浮かべるようにします。それから「呼吸を整える」…息をゆっくり吐き出し、次にゆっくり鼻から大きく息を吸います。ゆっくりの呼吸で落ち着きを取り戻します。さらに「緊張→弛緩、でリラクセーション」…こぶしを固く握る→指をだらりとさせ

る、目を固くつづる→目を開けてゆったりさせる、肩をすくめて上げる→おろす、以上をゆっくり繰り返します。少し体と心が楽になりませんか。



心身の調子がよくないとき、「ネガティブ思考」の連続が表れやすくなります。あまり自分を責めすぎず、辛い思いをされたら我慢せず、学生相談室に話しに来てくださいね。

